SIGNAL REPORT — OCTOBER 2026

兆しレポート 2026年10月

海外の音楽と現代アートの最前線から、この月に Andown が照らした兆し 128 本を、ひと月分まとめました。

監修 伊丹谷大介

要するに

1. 音楽生成AIの利用許諾から学習データの影響評価まで、同意と報酬分配の条件を具体化する動き
2. 月額課金の撤廃や実再生データによる分配に見える、ファンとの接点と対価の測り方の再設計
3. 常設空間要件を撤廃するアートフェアと所蔵品を共有する美術館に見える、場所と所有の再検討

128	32	9	10
記事	テーマ	地域	複数の出典で書いた記事

10 MOVES 今月の 10 の動き

01 フリーズが出展条件から常設空間の要件を撤廃し、固定の展示拠点を持たないギャラリーにも門戸を開いた。

2026.10.18 · アート市場の再編

02 音楽生成AIの報酬分配で、類似度だけでなく学習データの影響や提供量を基準にする技術・契約の動きが示された。

2026.10.17 · 著作権の再発明

03 Vaultが月額課金を撤廃し、Patreonでは無料会員の広がりと単品販売の拡大が報告された。

2026.10.17 · スーパーファン経済

04 デンマーク議会に、声や姿のデジタル複製の無断公開を禁じる著作権法改正案が再提出された。

2026.10.13 · 声の権利

05 米国のFront Gate TicketsとCashorTradeが、購入記録に基づく額面以下の認証付き再販を接続した。

2026.10.31 · チケット戦争

06 PRS for Musicが英国の約7,000施設における実再生データを使用料分配に用いる取り組みを進めた。

2026.10.29 · 音楽データ資本主義

07 Musicboard Berlinが助成を再編し、ライブ助成の最低60%を地元の新進出演者の報酬に充てる条件を置いた。

2026.10.28 · ローカル・シーン復権

08 UMGがタイのジェフ・サターと契約し、既存の越境人気に制作から海外公演までの支援を重ねた。

2026.10.25 · K-POP以後

09 Spotify有料会員の地域別構成で、ラテンアメリカと北米の差が1ポイントに縮小した。

2026.10.23 · ラテン・テイクオーバー

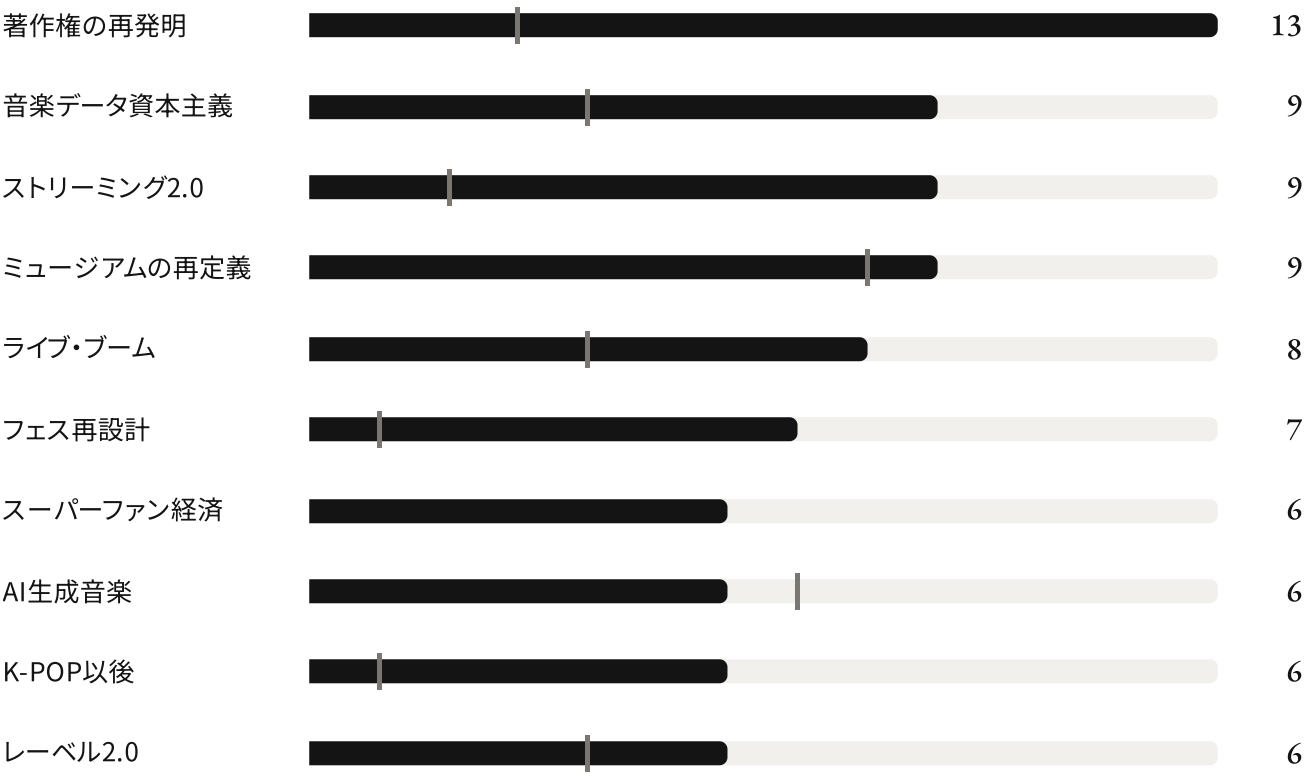
10 **MoMA、Centre Pompidou、M+が、各館の独立性を保ちながら所蔵品と研究を共有する協定を結んだ。**

2026.10.31 · ミュージアムの再定義

THEMES テーマの変化

今月の掲載本数では「著作権の再発明」が前月3本から13本へ増えた。AI利用への同意や報酬、作曲家の権利回収など、利用条件と対価をめぐる記事が重なる。「音楽データ資本主義」は4本から9本、「ストリーミング2.0」は2本から9本。実再生に基づく分配と、配信前の本人・権利確認が並んだ。一方、「AI生成音楽」は7本から6本で、掲載本数の伸びは生成そのものより契約や管理の側に見える。「スーパーファン経済」は0本から6本となり、月額課金の撤廃とファン主催の催事・販売基盤への移行を扱った。「フェス再設計」も1本から7本へ増え、協賛の共同開拓や開催形式の変更が浮かぶ。「ミュージアムの再定義」は8本から9本と続き、所蔵品共有や収蔵・修復を軸とする拠点が目立った。

今月の本数が多かったテーマ（細い線は前月）



THE YEAR 2026年１月からの流れ

1月はソルト・ン・ペパの判決が、原盤の権利回収を阻む契約の壁を示した。2月にはDowntown買収完了で、独立系を支える配信基盤の統合が進む。3月は英国がAI学習の著作権例外の優先案を撤回し、4月には声の無断AI利用が配信の本人確認を問うた。5月のStemによる契約数の絞り込みは、長期育成への運営転換。6月にはコロラド州で創作者の議決権と知財を守る会社制度が成立し、資金と所有の関係に制度上の変更が加わった。7月は米音楽家組合がAI契約の収入分配を要求。8月にはLuminateのAI音楽識別がチャートのデータ基盤へ入り、契約に加えて分類・管理も論点となる。9月は独立系出版社がAI契約の同等評価と透明化を求め、LACMAは国・年代別の展示を海域別へ組み替えた。10月は学習データの影響を測る報酬分配と、Vaultの月額課金撤廃が並ぶ。本数を比較できる9〜10月では「著作権の再発明」が3本から13本、年累計86本。「AI生成音楽」は7本から6本、累計58本だった。権利と分配の検討が続く一方、生成物の識別や利用者との接点設計へも扱う範囲が広がった。美術館も、8月の文化財返還、9月の展示再編、10月の所蔵品共有と、所有と公開の方法を問い直している。

テーマ × 月の本数（その年の合計が多い 15 テーマ・色が濃いほど多い）

テーマ	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	計
著作権の再発明	13	3	10	4	7	10	15	8	3	13	86
AI生成音楽	7	3	1	5	4	4	10	11	7	6	58
ミュージアムの再定義	7	7	6	6	5	2	1	6	8	9	57
ストリーミング2.0	6	4	2	7	4	3	8	3	2	9	48
チケット戦争	3	10	6	1	6	5	6	2	5	2	46
レーベル2.0	5	3	5	5	3	3	3	4	4	6	41
ローカル・シーン復権	3	6	4	4	2	5	4	4	2	3	37
音楽データ資本主義	5	4	3	3		1	2	1	4	9	32
ライブ・ブーム	2	3	3	2	2	2	2	3	4	8	31
フェス再設計	1	4	1	4	1	3	1	4	1	7	27

テーマ	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	計
音楽の金融化	3	3	3	3	5	2	2	1	1	2	25
クリエイター中間層	2	3	3	4	1	4	2	1	1	3	24
ポスト・アルゴリズム	5	2	4	1		1	1	2	2	3	21
カタログ・ゴールドラッシュ	1	1	1	2	3	4	1	2		3	18
アート市場の再編	1	2	1	2	2	3	1	1	3	1	17

少ない → 多い（1 マスの最大 15 本）

MAP & HORIZON 地域と時間軸

世界	56	シーンと言説の潮流	62
米国	31	兆しの初動	36
英国	9	業界の構造変化	30
欧州	8		
ドイツ	7		
アジア	7		
フランス	7		
中南米	2		

数字は、この月に公開した記事のうち、検索に出している記事だけを数えています。各記事の出典は、それぞれの記事の末尾にあります。